



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

3

2013
MARCH

3月10日発行
第3巻 第9号 通巻28号

Bulletin
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 ルカによる福音書24章7節

人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。

クラブ会長主題：明日も笑顔で ～全てのことが 意味のあること～ クラブ会長：藤井隆

国際会長主題："Be the light of the world" "世を照らす光となろう"

国際会長：Philip Mathai (インド)

アジアエリア会長主題："Years bring wisdom" "歳月はY'sをワイズ(賢者)にする"

アジア会長：Oliver Wu (台湾)

西日本区理事主題："先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で" 西日本区理事：成瀬晃三

京都部部長主題：『出あい』『ふれあい』『磨きあい』京都部部長：船木順司(京都トップス)



「第4期EMC委員長として」

山田 維久仁

先日、久々にスポンサーとして新しいメンバーを迎い入れることができました。

古くからの知人で、10年程ご無沙汰してたのですが、1年程前に偶然再会しました。

当時からするとお互い成長し、今では公私面でとても頼れる友人の一人です。

ハッピーアワーに招待した時も即答で快諾して頂き、入会されたのですが、

先日の入会式では嬉しい一言を頂きました。

「初めて参加したハッピーアワーでメンバー皆様からお声掛け頂いたことが、すごく嬉しく、

心に残っている」と。そうでした。私が入会を決めた2年前にも同じ思いをしていました。

独立して間無し、お金も底を尽きかけていた時期に入会を勧められ、時期を見合わせようとした

その時、とあるメンバーさんから

「準備が出来たら入会するといったらいつまで経っても入会できないんじゃない。

お声掛け頂いた時が御縁なんですよ。」と。人間は死ぬまで成長し続けます。潜在能力は何十万倍とも言われています。時間がない、お金がないは自分にブレーキをかけているだけです。

人は人との御縁によって成長し続けると思います。第4期、2年しか経験のない私が

EMC委員長をさせて頂くことになりました。ワイズメンズクラブの原点を一から勉強し、

新しい出会いを数多く作っていきたいと思います。また大きく成長できる1年になりそうです。

今後共宜しくお願い申し上げます。



国際協力フェスティバル

平成24年2月3日

これにコーヒー=KAPEが付くと、LONGSIKAPELOG=ロンシカペログと呼ばれます。実に分かりやすい命名で、食材にクセがないこともあって、しばしば渡比する日本人リピーターにも根強い支持のある料理であります。

そんなわけで、YMCAから各国料理を何かひとつ、昼食として提供してほしいとの要望を伝え聞いたとき、真っ先に浮かんだのがこの料理なのでした。同居人も二つ返事で合点承知してくれましたので、我が家が自ら立候補する形で参加することに次第だったのですが、なんと当日前夜になって同居人がひどい発熱のためダウン。幸い、メインのロンガニーサの食材買付と仕込みはすでに完了していたため、あとは百人力の河村ワイズ他に頼りまくることにして本番に臨みました。

当方が「国際協力フェスティバル」のタイトルから勝手に予想していた、「懐かしいロンシログを食しながら喜びの涙に咽ぶフィリピン人貧乏留学生の図」などは当然、全く見る影もなく、ごくごくフツの日本人の方々(しかもごくごく身内中心)によって「70食完売御礼」を出させていただいた次第。

改めまして、ご協力下さいました河村、西村、高倉、井上、田中、加藤各ワイズに厚く御礼申し上げます。

佐古田 正美

はじめにお断りしておきますが、私は断じてフィリピン料理を、世界の名だたる名料理のひとつとして認めている者ではありません。同国はスペイン統治下に長く置かれた結果、今でもスパニッシュ文化が色濃く残されてはいるのですが、こと家庭料理に関してのそれは、正統スペイン料理がそのまま踏襲された形跡はほとんどなく、批判を恐れずに評するならば、支配者スペイン人の残した残飯を、その隷属者たるフィリピン人が上手にアレンジして長い年月をかけて変化していったものと断定しています。同居人がいかにこの事実を否定し続けていようとです。

かように同国料理に対して少なからずの偏見を持つ私ではありますが、今回のフェスティバルに提供させていただいた「ロンシログ=LONGSILOG」に限っては、これが朝食、昼食として私の大のお気に入りなのです。ロンシログのロンは、LONGGANISA=ロンガニーサ=フィリピン風ソーセージ。シはSINANGAG=シナガッグ=ガーリックライス、ログはITLOG=イトログ=卵。つまり、「ソーセージ、目玉焼き付きガーリックライス」の意。

車椅子駅伝

平成24年2月17日

今回の車椅子駅伝参加は二回目になります。初めての参加は、まず集合場所の宝ヶ池にあるグランドプリンスからお手伝いが始まります。宝ヶ池スタート地点、何カ所かに別れる中継地点にバスで選手を送迎します。そこでバスに乗る時車椅子を押して座席に移動するまでのサポートです。

参加して一人目の選手に気の利いた声掛けも出来ず無難に終わりました。二人目の人は緊張されていたので、此方も一緒に緊張してしまいました。そして今年、自然に選手の方に雪が積もってますねと声かけられました。すると選手の方から去年の話をして下さいました。

次は中継地点でバトンタッチした瞬間、区間を精一杯、全力を尽くされた後なのでぐったりされてました。



そこで出番です。

休憩所までサポートしてる時にお疲れさまでしたと声掛けしたら、ありがとうございますと逆に声掛けしてくださいました。

何故かこちらの方が嬉しくなりました。

一回目の参加より二回目、そして来年の三回目の参加が楽しみです。

竹園 憲二

ハッピーアワー

平成24年2月19日

今年最初のハッピーアワーは京町家の奥に店を構える「ブラッスリーヴァプール」。

メンバーの知人が営むフレンチのお店です。

2Fを貸切にして頂き、ゲストを含め約20名で色鮮やかなコース料理に舌鼓を打ちました。

落ち着いた雰囲気とフランス語の曲が流れる店内では会話も大いに盛り上がり、おいしいワインも手伝って少し羽目を外し過ぎる場面もありましたが...

それもハッピーアワーならではのご愛嬌。

また、今回のハッピーアワーでは今後に向けての課題も見えてきました。

ハッピーアワーの本来の意味に立ち返り、しっかりとしたゲストフォローをしていかないといけないと反省もしました。



色々となりましたが、一つ、またメンバーが強い絆で結ばれた夜になったことは間違いありません!

これからも多くのゲストの方々に楽しんでいただき、またメンバー同士も一致団結できるようなハッピーアワーを開催していきますので、よろしくお願いします。

EMC委員長 石飛

チャリティーボーリング

平成24年2月24日

2月第2例会は2月24日(日)にしょうざんボウルにおいて、京都部ボーリング大会を振替例会として開催されました。

ZEROクラブからはメンバー7名・コミット1名の8名の参加があり、全体では150名程度の参加者で大会が開催されました。ここ最近ではボーリング場も総合エンターテインメント&スポーツ施設の中に小規模ながら設置されるようになり、少し活気を取り戻しているようです。そんななかで、これは小耳に挟んだ話ですが、近年にできているボーリング場のレーンは全て樹脂製の事ですが、当日会場のしょうざんボウルは京都で唯一の木製レーンのボーリング場との事です。

さて、そのような希少なレーンでの大会の成績ですが、ZEROの面々はレーンとの相性も良かったのでしょうか?個人優勝・クラブ準優勝・当日賞(24位)と三つも受賞することができました。且つ「ZEROクラブここに有」とアピール出来たかと思えます。

来期も開催されると思いますが、クラブとして参加するのなら

ばもっと大勢が参加してZEROをアピールし、楽しめれば良いかと。

ちなみに、当日賞は高倉Y、個人優勝はこの例会報告を書いた人でした。挑戦待ってまっせ!

宮越 寛



お疲れさまでした★





HAPPY BIRTHDAY!

3月 13日	中内 基	3月 24日	河村 栄二
3月 19日	西村 寛子	3月 25日	加藤 大典



HAPPY ANNIVERSARY!

3月 24日	河村 栄二&美由紀
3月 31日	熊本 祐滉&由佳

〈強調月間〉3月 EF・JWF

■ 2月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	17/25名	メンバー	7/25名
メネット	2名	メネット	0名
コメット	3名	コメット	1名
ゲスト	1名	ゲスト	0名
月間出席者数 21名/25名		月間出席率 84.0%	

■ TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

■ ニコニコ

2月	1,000円
累計	34,000円

■ ファンド

2月	7,600円
累計	327,080円

会長	藤井隆
副会長	竹園憲二 河村栄二
書記	井上晴雄
書記	高倉英理
会計	熊本祐滉